



73  
6628  
2





地方凡成錄卷之一



租稅部

上

地方凡成錄古今租稅言及列布在年並  
五國米石米欠米迎米日米日永濟國石代等  
凡五十七條



















































































形なり 地を世に加入せしむる所の之を天地のま  
年を凡の早雲の社なりとて生れ 如くはこれ  
首に地を事行 矢は後海を林をある所 又  
の如く海を正の地なり 村に人限り 事代連の  
地之友よ中古改て海川と云ふ 地止り 如く  
高付の向 祖大溪有 地不也 地水 聖三 海川  
新記より入る 如くは 如くは 如くは 如くは  
取村 海を元祖 如くは 如くは 如くは 如くは  
成 地 事 如くは 如くは 如くは 如くは  
も 村 事 如くは 如くは 如くは 如くは  
物 如くは 如くは 如くは 如くは  
今 如くは 如くは 如くは 如くは  
海 如くは 如くは 如くは 如くは  
浪 如くは 如くは 如くは 如くは  
事 如くは 如くは 如くは 如くは

○山々の事

村中へ命 山を山 山を山 山を山 山を山  
幸 如くは 如くは 如くは 如くは

節 如くは 如くは 如くは 如くは  
浪 如くは 如くは 如くは 如くは  
山 如くは 如くは 如くは 如くは  
事 如くは 如くは 如くは 如くは

○桑の事

換 如くは 如くは 如くは 如くは  
山 如くは 如くは 如くは 如くは  
事 如くは 如くは 如くは 如くは  
山 如くは 如くは 如くは 如くは



















白旗の布の柄と上降の山と三斗車

一 忠告者より書かれたるの故布村方の書札は後見中  
とありてその中の四角より書札の紙の上より  
三斗車の書札の中より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて

○二十頁、百斗車

附 水口割替の二割替の事

上野国東川郡赤松村の事

此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて

首と口降して米の松石とありて口降とありて  
替とありて二割替とありて三斗車とありて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて  
此の書札の紙の上より代官の通書に在りて  
その紙の上より代官の通書に在りて

一 米と口降書文

此の書札の紙の上より代官の通書に在りて

此の書札の紙の上より代官の通書に在りて

□

此の書札の紙の上より代官の通書に在りて

此の書札の紙の上より代官の通書に在りて

何村 他部米の事

同方 他部米の事

柳方 他部米の事

此の書札の紙の上より代官の通書に在りて







順より高の選るる中田の上物に厚きり成り  
 中田の選りし物は用は中田の選りし  
 選りし物なりし中田の選りし物なりし  
 中田の選りし物なりし

上田より下

他石選り

此方米石八斗

石あり

此方米石八斗

石あり

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

石あり

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗

此方米石八斗



















一本上方の園東の町割の傍り、園東相米代り  
の河原の側より、潮止相米代り、橋の傍り  
友右の河原の側

上相米代り 上方

ひあ米代り 舟の傍り

ひあ米代り 舟の傍り

ひ代水西五拾町 舟の傍り、相米代り、舟の傍り、舟の傍り

相米代り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

上相米代り 園東

ひあ米代り 舟の傍り

ひあ米代り 舟の傍り

ひ代水西五拾町 舟の傍り、相米代り、舟の傍り

相米代り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

本上方及丸船車、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り

舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り、舟の傍り



























之書中より多々余爾うと米多々及書あり  
二年の由代書へ先づり之米各段又書あり  
うと二歳下納り米納り書今ふり米納り書  
ふり古代書目上段の米各段今納り書  
と米納り書と別段の米各段今納り書  
米納り書

一 御代書納り書

御代書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

合書納り書

右所代書納り書合書納り書十一年九月の作也  
御代書納り書

山城 大和 物部 河内 和泉 攝津

近江 美濃 伊勢 三河 濃河 美濃

信濃 越前 相模 上野 武蔵 甲斐 陸奥

常陸 上総 下野 上野 甲斐 陸奥



四月 任是 茂津 秋後 如安 德也

本字一ヶ箇所代本不子

三つり本

諸角 合百の事  
未七後人馬

但三つり本 合百の事  
未七後人馬

海中 海後 丹後 丹波 但馬 美作

石見 出雲 出羽 伊豫 陸奥

本松一ヶ箇所代本不子

三つり本

諸角 合百の事  
未七後人馬

但三つり本 合百の事  
未七後人馬

豊後 豊前 能登 肥後 肥前 日向

本一ヶ箇所代本不子

三つり本

諸角 合百の事  
未七後人馬

但三つり本 合百の事  
未七後人馬

本一ヶ箇所代本不子

三つり本 合百の事  
未七後人馬

三つり本 合百の事  
未七後人馬

三つり本 合百の事  
未七後人馬

三つり本 合百の事  
未七後人馬

三つり本 合百の事  
未七後人馬

但三つり本 合百の事  
未七後人馬

本三つり本 合百の事  
未七後人馬

一 三ヶ年 諸角未令 二月廿日 一 三ヶ年 諸角未令

但依老の 協不史用 未後 前 未高 三ヶ年

一ヶ箇所

所代 依老 又 未高 前 未高 未令 月 刻 三ヶ年

未高 月 三ヶ年 一ヶ箇所 未高 未令 月 刻 三ヶ年

子代 依老 三ヶ年

一 所代 依老 三ヶ年 未令 月 刻 三ヶ年

但三つり本 合百の事  
未七後人馬

三つり本



上無道百六十和の國を帝能てさすにその代  
上和を和治と云ふ事なり代及も和治なり後  
以てその事なり代及の如く月別と増減と云ふ

享保十二年九月

右通す中是事と仰山先國案の事なり其日  
ある別と云ふ事なり代及の如く月別と増減と云ふ  
代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて

一右通す令の事なり其日ありて  
或人平代及の事なり其日ありて  
代及の如く増減令の事なり其日ありて  
河内と獲立能尾君の事なり其日ありて  
極の事なり其日ありて  
海二万石の事なり其日ありて  
令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて  
代及の如く増減令の事なり其日ありて

代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて  
代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて  
代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて  
代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて

右代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて

一右代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて  
代及の如く増減令の事なり其日ありて  
上と云ふ事なり其日ありて















後醍醐天皇の御代に於ては、未だ漢の令を以て  
米の石積り定まらざりしに、

大猷後醍醐天皇の御代に於ては、未だ漢の令を以て  
米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、

米の石積り定まらざりしに、











恒如如安水洋七後宮保の如く是の如く  
有徳院様 所代書保七去年の永三書文書  
石代の今年平均の書可成るる會帳の書  
代の如くは之の元文元年より又古の  
中へまき衣部斗の書代の如く右の書保  
の如くは河邊永三の付代書の書保の永三  
書又ハ叔の如くは河邊の如くは  
しつて米部書保の元文元年の如く  
島の手書きの如く

恒の如くは河邊永三の書保の如くは  
代の如くは河邊永三の書保の如くは  
書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
今年平均の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは

相協書事

右の如くは河邊永三の書保の如くは

河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは  
恒の如くは河邊永三の書保の如くは河邊永三の書保の如くは

一 右の如くは河邊永三の書保の如くは  
七月十日一十年の如くは河邊永三の書保の如くは







此の山判歩判の事  
永平を以て文毎の事  
あるに及勝頼没後甲別一系

大神若市の子の傳言此事の改正は  
甚だ今又武田家の説を以て由世を以て  
其来りたるの言半に由世の念の如く傳言  
時代を以て其来りたる由世の傳言  
未だの傳言に對し而付此の如く其來りたる  
の山判の事其來りたる平浪明義甲別一系  
其來りたる武田家の傳言に對し而付此の如く  
此の山判の事其來りたる武田家の傳言に對し  
米高の如く其來りたる武田家の傳言に對し  
又天和貞享傳言の事其來りたる武田家の傳言  
と如く其來りたる武田家の傳言に對し而付  
此の山判の事其來りたる武田家の傳言に對し  
其來りたる武田家の傳言に對し而付此の如く  
其來りたる武田家の傳言に對し而付此の如く

其來りたる武田家の傳言に對し而付此の如く

地方元成録卷之一







